

「お金によって、人は傷つけるためではなく豊かになるために働き、
人間の絆は、苦しみではなく良いもの交換によって結ばれると
認識できる」～ アイン・ランド ～

ワンデイ・セミナー

ヤロン・ブルック白熱教室

～アイン・ランド哲学とマネーの未来～

ゲスト： ヤロン・ブルック

(米国アイン・ランド協会 会長)

モデレーター： 田村 洋一

(メタノイア・リミテッド代表取締役)

2019年5月25日 (土)

9:30

受付/開場

10:00

開始



<開催概要>

10:00 - 12:30 第一部 講演・討論

講演：「アイン・ランドの哲学とマネーの未来」

討論 ～ 自由に生きるためのお金の倫理 ～

12:30 - 13:30 (昼食)

13:30 - 16:00 第二部 講演・討論

講演：「国家と通貨と投資戦略」

(講演は英語、討論のみ逐次通訳あり)

トピックス ベネズエラの教訓・インフレに備える投資戦略・他



丸の内vacans FLOCブロックチェーン大学校

東京都千代田区丸の内3-1-1国際ビル 2F

参加費

12,000円

※ 4/24(水) までの申込・振込により早期割引 10,000円

STARクラブ、ARCJメンバーは10,000円→早割8,000円

定員

40名 (先着順)

申込

※下記サイトよりお申込ください。

<https://kokucheese.com/event/index/559748/>

いま世界中で「お金」に 哲学が求められている

今日多くの人がお金に呪縛されています。「お金さえあれば・・・」「お金のためになんて・・・」お金のために働いているという人は多く、お金のために我慢している人がたくさんいます。

一方で、グローバル金融資本主義の中で、富める者と貧しい者の格差がどんどん拡がり、不公平感を募らせる人が増えています。ヤロン・ブルックは、アイン・ランドの哲学オブジェクティビズムに立脚し、「平等は公平ではない」と断言しています。経済格差は問題ではなく、貧困が問題なのです。格差批判の正体は妬みや罪悪感なのです。

ヤロンは、お金の歴史を哲学的視点から解き明かします。現代の私たちがお金について悩みや迷いを抱えているのは、そもそもお金が何なのか、どういう仕組みで成り立っているのか、私たちは倫理的にどうお金と付き合ったらいいのかを理解していないからなのです。お金を稼ぐことにどんな意味があるのか。今の時代に投資と貯蓄をどう考えるべきなのか。仮想通貨とはどういうものか。

5月25日のセミナーでは、ヤロン・ブルックがお金にまつわるありとあらゆる謎に答え、受講者の不安を払拭し、健全で創造的なお金の扱い方を伝授します。

(田村洋一)



講師：ヤロン・ブルック Yaron Brook

米国アイン・ランド協会会長。アイン・ランドの思想であるオブジェクティビズムに基き幅広いテーマで「フォーブス」、「ウォール・ストリート・ジャーナル」等多くのメディアに寄稿し、ラジオ・テレビにもコメンテーターとして出演、世界各地で講演を行っている。近著に『平等は不公平：格差との不毛な闘い』。ファイナンス博士（テキサス大学オースティン校）、MBA（同）。



モデレーター：田村 洋一

日本の教育家・実業家。2002年よりメタノイア・リミテッド代表取締役。人材育成、組織開発のためのエグゼクティブコーチングなどを行う経営コンサルタント。2008年よりシステム思考応用研究会（STARクラブ）、合理的意思決定とコミュニケーションのためのディベート道場を主催。1986年にアイン・ランドの思想に触れ、オブジェクティビズムの学徒となる。上智大学外国語学部卒業、バージニア大学MBA。

アイン・ランド Ayn Rand (1905-1982)

ロシア生まれ。アメリカの「保守の女神」とも呼ばれる思想小説家。1936年『われら生きるもの』でデビュー。

1943年『水源』がベストセラー。個人主義・合理主義・資本主義を柱とする独自の哲学「オブジェクティビズム」を小説やエッセイを通じて世に問い続け、1957年の『肩をすくめるアトラス』は米国議会図書館の調査で「聖書に次いでアメリカ人に最も影響を与えた本」とされた。

